私たちのまちを守ってね
防災バス「あんしん号」発進！

関市が全国に先駆けて導入した、災害時の後方支援バス「あんしん号」。地震や洪水などの非常時には現場へ出動し災害対策本部となり、現地での拠点施設として被災者の応急手当や救助要員の搬送などを行うことができます。

安全安心なまちづくりのための力強いサポートが期待されます。

照会先　危機管理課
☎２３－７７３６

3月26日（木）防災バス披露会を開催

市役所市民広場において、防災バス完成披露会が行われ、市民や関係者、マスコミなどが集まる中、「あんしん号」が登場しました。

このバスは市の安全安心のために使ってほしいと寄せられた多くの寄付により導入されました。導入に際しては、消防や救急、医療関係などさまざまな分野の意見をもとに設計されています。

▲テープカットが行われました

その名も「あんしん号」

防災バスの愛称「あんしん号」は、市民からの公募によって決定しました。

命名者は西部隆夫さん（赤渕）。「市民が〝安全安心〟に関心を持ってほしい」との願いから名付けられたそうです。「あんしん号」の名前は、バスの正面と左側面に表示してあります。

「あんしん号」のすべて

「あんしん号」にはまだまだ機能があり、さまざまな状況に対応できるよう設計されています。

◆左側に屋外用テントを装着

屋外での作業などを想定して車体の左側面に組み立て式のテントを取り付けることができます。

◆対策本部となる車内後部

車内にはサロンスペースがあり、過酷な状況の災害現場においても対策会議を開くことができます。また防災無線や衛星電話も配備し、連携体制も整っています。

◆車体下部にトランクスペース

大型のトランクスペースがあり、発生した災害の状況に応じて、さまざまな資機材を搬送できます。

◆車内にトイレを完備

車内後方に水洗トイレを完備しています。長時間、消火活動に当たる消防団員や、災害現場での被災者のための必需品です。

非常時には・・・

火災などの災害が発生した時はその現場に出動し、長時間にわたって消火活動にあたる消防団員らが休憩したり仮眠をとったり、けがをした人の応急手当を行う場所となります。また、大雨により河川が氾濫（はんらん）した時や、行方不明者の捜索などにも出動して、救援物資や救助要員を運んだりもします。

防災バスが現地災害対策本部ともなり、無線や電話を使って本部や県庁と連絡調整も行うことができます。

平常時には・・・

災害のない平常時は、防災バスの中で防災に関する研修などを行うことができます。車内にはＤＶＤやビデオデッキがあり、学校や地域の施設などへ出掛けて、子どもたちの防災教室にもなります。また今後は、防災バスを活用して、一般市民の防災研修や視察なども検討していきます。

市民の皆さんの力で、安全で安心なまちづくりを